

私たち事業団のトップであった高木東六先生と共に昭和の歌曲をリードしてきた古閑裕而先生の物語が「エール」という題名でNHKの朝ドラの人気番組になっていきます。東六先生はお父さんがロシア正教の牧師さんでしたので、生まれ育った傍らに常にオルガンはあるし、信者の歌う聖歌に囲まれていました。やがて、東京音楽学校（現芸大）に進みましたが中退し、パリに留学したのですが、古閑先生は会津の小学校でたまたま音楽好きの先生に出会い、先生の課題を卓上ピアノで作曲したという天才児です。呉服屋の長男で音楽学校などどんでもないと言う家庭ですが、お父さんが一番の理解者で入学祝いに蓄音機を買ってくれたのでした。その後、彼は世界的公募のオペラ曲に応募し、受賞し、イギリスの音大に留学することになったのです。しかし、昭和4年、世界大恐慌の影響で留学中止の連絡を受けたのです。傷心の彼は奥さんになる方の豊橋の実家に説明のため訪ねます。ここは昔から「手筒花火」が有名で450年の歴史があります。人が手筒を持ち、火を付けて天空に高々と打ち上げられるのです。持っている人に火の粉がかかっても平気にみえます。私も2回ほど見に行きましたがお見事なものです。またその近くの岡崎は「八丁味噌」で有名です。人は好き好きですが、会津で育った彼には苦手な味なのです。私ごとですが、私の家内は東京生まれですが、母方の先祖が栃木です。味噌汁は具沢山で汁が見えないほどです。逆に私の母親のそれは汁の中にある具を箸で探すようなよく言えば品の良い味噌汁で、長い間それが普通と生きてきたので大いに戸惑ったことがあります。ささやかなことで言い出せないでいたのですが、不思議に思った家内の質問でその後は「横浜風」になったのです。「たかが味噌汁、されど味噌汁」です。また、ドラマでは、奥さんが会津に来たとき、異様な匂いのする「納豆」を食べているのを見てびっくりするシーンがあります。当時は西の人は納豆を食べる習慣はなかったようです。今は関西のスーパでも山に積んでありますし、東のスーパにもあらゆるブランドのお味噌がありますね。皆、お母さんの味、こどもの頃の味は懐かしく忘れられないのですね。

さて、広報よこはまで「こどもミュージカル」夏公演に集まったメンバーですが、稽古が出来ず公演中止になりました。この不自由な時なので、お家時間の課題二つを企画しました。一つは「心に残った言葉」です。皆さんから素晴らしい反応があり、その中に朝ドラ「エール」をみて、共感した言葉を二名の中・小学生が寄せてくれました。◇「やらずに後悔するより、やって後悔した方がよってな」※アメリカに居た時、怖くて合唱部に入るか悩んでいたとき、お母さんの後押しという言葉で入部、皆が認めてくれ楽しいときを過ごした。もしも入部していなかったら後悔したと思う。◇「才能があるとうらやむだけで努力しない・・・」※これはうらやんでいるひまがあったら努力しろと言われてる感じがした。あらためて努力は何よりも大切に思った。朝ドラファンはシニア層が多いかと思っていました。視聴者の年齢中の広さにも気付かされました。そして、もう一つの課題は、動画で自分表現でした。コーラスの先生もミュージカルの先生も今出来ることにチャレンジして動画の活用などで皆にエールを贈っています。心より感謝いたします。



元球児 95歳のエール「無駄にならない」  
朝日新聞5/22版・裏面へ  
斉藤哲男さん  
元横浜☆男声合唱団メンバー

「第33期赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」  
9/12(土) 横浜市開港記念会館  
ATF・青隊・赤隊Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ  
横浜☆男声合唱団



「ガーデンネックレス横浜 2020」の山下公園と赤い靴はいた女の子像

今後のスケジュール

★8/21(金) 第14回東六忌 元町霧笛楼
★9/12(土) 第33期「赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会」 横浜市開港記念会館 赤い靴ジュニアコーラス/ATF・青隊・赤隊 横浜☆男声合唱団
★9/13(日) 朗読劇「ことばの贈りもの」仮称 横浜市開港記念会館 横浜市民こどもミュージカル2020メンバー
★9/21(月・祝) 延期開催 中区ダンスフェスティバル2020 関内大ホール/入場料600円 第1部13時～、第2部18時～
★10/9(金) 延期開催 横濱シネマパラダイス 懐かしいヨコハマの風景と流行の映画音楽 横浜みなとみらい大ホール 15時開演 新日本フィルハーモニー ナビゲーター 池辺晋一郎(作曲家) ドラマトゥルク 中村高寛(映画監督) ゲスト 松永春(赤い靴事業団・団長)
★10/17(土)・10/18(日) オペラ「トゥーランドット」 神奈川県民ホール・大ホール 出演：赤い靴ジュニアコーラス

※以下のイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため延期になりました。  
★「中区ダンスフェスティバル2020」  
8/30(日)→9/29(月・祝)に延期開催。

さて、話は変わりますが、朝日新聞の5月22日の「天声人語」を参考に書かせて頂くと、ある日、木からポトツと落ちたリングを見て、ものは地軸に引かれると言う「万有引力」を発見したアイザック・ニュートンのことです。イギリスの田舎に未熟児で生まれた彼は産婆さんから「この子は長くは生きられないだろう」と言われました。お父さんは彼が生まれる3ヶ月前に亡くなり、お母さんは再婚し、おばあさんに育てられたのです。ケンブリッジ大学の専科に在籍中の17世紀、今と同じような伝染病ペストが全世界に流行ったのです。もちろん学校は休校、しかし彼には学校で学位を取り、頂いた奨学金があったのでおばあさんの待つ田舎へ避難のため暫く帰ったのです。そこにいた一年半の間に「引力」と「微積分学」と「光学」と三つの発見をしたのです。学校が閉ざされなければこのようなことも出来なかったでしょう。自宅に続く納屋に入ると小さな穴から差し込む陽光は白いのに、壁に映るのは七色なのです。光の正体は屈折率の線であることを知ったのです。おばあさんは農作業を手伝ってくれようと思っていたのですが、単なる怠け者なんだと思ひ、彼の異能に気がついていかなかったのです。ペストが去った後、大学に戻って研究を続けましたが、お話が下手で彼の発表には人が集まらなかったとのこと。唯一「ネコ」と心を繋ぐことだけが、よりどころだったようです。今、同じような「新型コロナウィルス」の「巣ごもり」の中で、何か大事なことの発見があるかも知れないかと期待されます。

また朝日新聞のその日の夕刊(全国版)ですが、前々回の赤い靴通信396号に選抜高校野球が中止になったことを書きました。そしてこの度は全国勝ち抜きの高校選手権大会も中止になりました。私どもの横浜☆男声合唱団に在籍していた斉藤哲男さんが、当時の神奈川代表になったのですが、戦争で甲子園大会が中止になったのです。「無駄にはならない」という「エール」を今、後輩に贈った事が記事になりました。是非この通信の裏面をお読み下さい。間もなく学校も始まります。元町あかいくつスタジオでも新しい日常生活様式を守りながらレッスンをスタートいたします。

2020・5・31  
団長 松永春

